

令和5年度第1回尼崎市文化財保護審議会会議録要旨

1 日 時

令和5年8月22日(火) 午後2時00分～4時00分

2 場 所

尼崎市立歴史博物館3階講座室

3 出席委員

委 員	伊 達 仁 美
委 員	長 谷 洋 一
委 員	川 口 宏 海
委 員	綿 貫 友 子

4 出席した事務局職員

社会教育部長	橋 本 貴 宗
歴史博物館長	門 田 真由美
歴史博物館文化財担当学芸員	高 梨 政 大
歴史博物館文化財担当学芸員	新 里 遥
歴史博物館文化財担当学芸員	服 部 早 希
歴史博物館文化財担当学芸員	楞 野 一 裕
歴史博物館文化財担当学芸員	桃 谷 和 則

5 開 会

司会進行 門田館長

6 挨 拶

安田教育次長

7 議 事 等

議事1「令和5年度尼崎市文化財保護審議会の予定について」

- ・第2回 令和5年10月～11月頃予定、文化財保存活用地域計画、最近の文化財行政について
- ・第3回 令和6年1月～2月頃予定、文化財保存活用地域計画、最近の文化財行政について

議事2「令和5年度尼崎市指定文化財候補物件の審議について」

- ・「東大寺大仏殿油納所拵注文」について、昨年度からの継続審議となった。

(質疑等)

- ・東大寺文書の調査をされている先生へ候補物件について問い合わせたところ、「鎌倉遺文」の第18514号文書の原本ではなく、原本の写本の可能性があり、時期的にも字体の形が、鎌倉よりはやや下の室町期にかかるのではないかとのこと。写本であっても、長期にわたって伝来しているため歴史的価値は損なわれるものではない。
- ・別の写本があるようだということを含めて、今後もう少し精査し、本資料の伝来などを中心に補足的な調査をし、第2回審議でその報告をしたい。

- ・これが写本だとすれば、原本は東大寺の塔頭の一つにある可能性がある。
- ・(上記の)先生は、古本の転売かなにかのカタログにある資料の写真を、今から40年くらい前の研究の中で紹介されていた。その関係で、問い合わせをした。
- ・写本の根拠としては、字体と、最後の朱筆のあたり。
- ・資料は別の競売にもかけられるなど移動がみられ、カタログの古文書自体と若干違う疑いもあり、写本が複数ある可能性がある。
- ・原本を東大寺へ確認しに行くことができるのか、その辺も含めて、次回とりまとめ報告したい。
- ・写本でも歴史的価値は当然あるので、写本であることを前提に議論していけばよい。

8 報 告

(1) 尼崎市文化財保存活用地域計画について

- ・年度初めにプロポーザルによる業者選定を行い、7月に業者が決定。
- ・文化財保存活用地域計画協議会のメンバーを決定、第1回協議会を10月上旬に予定。
- ・協議会メンバーには、文化財保護審議会から大場委員長・伊達副委員長の参加を昨年度審議会で依頼している。
- ・第1回協議会について、伊達副委員長の出席の了承を得た。大場委員長は審議会欠席のため、事務局より後日依頼する。
- ・作成に至る背景と目的について事務局から説明し、目次等の事務局案を提示した。
- ・今後の計画作成については、委員の先生方に指導、意見をいただきながら進めていく予定である。

(2) 第3回特別展（尼崎市指定文化財の精華）について

尼崎市指定文化財の初指定から、40年を記念して市指定文化財を一同に会する展示会を開催予定。同時開催の「わがまち誇りの指定文化財写真展」では、特別展に出展できなかった建造物等の市指定文化財や、国・県指定の文化財について写真パネルを用いて展示する。また各種関連イベントを開催するほか、記念講演会では審議委員の長谷委員にご登壇いただく予定である。

(3) 最近の文化財行政について

- ・旧尼崎紡績本社事務所(前ユニチカ記念館)の保存活用問題について報告を行った。
- ・令和5年3月6日に市議会本会議において、補正予算案が議決されたことを受け、敷地の購入契約、建物と展示資料の寄贈手続を行い、記念館は市有化された。
- ・尼崎市文化財保存活用基金を制定し3月17日付けで基金条例を施行した。
- ・今年度から建物、敷地の維持管理を歴史博物館で行っており、雨漏りの修繕にも着手した。
- ・近畿産業考古学会、兵庫県ヘリテージマネージャーによる現地見学会を行い、

意見の徴収をおこなった。

- ・類似施設の視察として、京都に明治 39 年竣工の旧京都綿ネル事務所（現 NISSHA 株式会社記念館）を視察し、奈良県王寺町で開催された全国近代化遺産活用連絡協議大会では前ユニチカ記念館保存経過の報告及び他市の事例等を学んだ。

- ・記念館旧展示資料を活用し、企画展「尼崎紡績—工都尼崎のはじまり—」を現在開催中である。

- ・近代煉瓦建築の耐震改修の専門家を招き、職員、市の建築技師を対象にした研修会を行う予定である。

- ・10月22日には日本建築学会と尼崎市教育委員会との共催による見学会、シンポジウムの開催予定で、今後、市が現地保存するにあたり、これからどうしていくのかということについて協議をいただくシンポジウムを開催する予定である。

- ・11月には、市民モニターによる見学会を計画している。

- ・記念館旧展示資料については、当館アーカイブの方で整理・公開を図っていく準備を進めている。

(質疑)

- ・建物の正式な名称は決まっているのか。

- ・建物の正式な名称はまだないので「旧尼崎紡績本社事務所（前ユニチカ記念館）」という呼び方をしている。いずれ文化財として登録や指定していくということになれば、正式な呼び方をしていくことになる。

- ・市民モニターによる見学会があるそうなので、なるべく市民にアピールできるようにして行ってほしい。

- ・そのようにしていきたい。

- ・文化財指定は行うのか。

- ・建物については、文化庁技官には一度見ていただいている。指定ルートか登録ルートが、少し時間をかけながら進めていきたいと思う。

9 その他

(1) 第2・3回の審議会の日程について

第2回・第3回の審議会の日程については、事務局で委員の日程調整を行う。

以上